

ライセンスに関する良くあるご質問と回答



Arcserve® Unified Data Protection v6.5

- 1. Arcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP)は、どのようにライセンスすれば良いのでしょうか。**

Arcserve UDP は、保護対象のサーバ単位 (Advanced Edition のみ ; 物理環境に対応) と CPU ソケット数単位(Advanced、Premium、Premium Plus の各 Edition)、またはクライアント PC 単位 (1PC、または 5PC 分; Workstation Edition) でライセンスいただきます。これらの他にも、サーバ数や CPU ソケット数に関係なく、保護対象のテラバイト単位でライセンスが可能な容量課金(キャパシティ)もご用意しています。
- 2. 容量課金 (キャパシティ)ライセンスの場合、どのように保護対象データを見積もれば良いのでしょうか。**

保護対象のデータ(または、“ソースデータ”と呼びます)とは、実際に保護されるデータの総容量を意味します。100TB のデータをお持ちであっても、10TB を Arcserve UDP を導入して保護される場合は、10TB 分のライセンスを購入ください。
- 3. 本番環境で容量課金(キャパシティ)ライセンスを導入しました。同じライセンスキーを使ってさらに別のサーバにあるデータを保護することは可能でしょうか。**

はい、可能です。ただし、購入いただいた保護対象データの総 TB を超えてお使いいただくことはできません。
- 4. CPU ソケット数が 2 つあるサーバを保護したいと思いますが、実際には 1 ソケットしか搭載していません。1 CPU ソケット分のライセンスで良いのでしょうか。**

はい、こういった場合、稼働中の CPU ソケット分のライセンスで Arcserve UDP をお使いいただけます。
- 5. UDP の CPU ソケット単位ライセンスで、複数の違うエディションを混在できますか？**

はい。例えば、CPU ソケット単位ライセンスの UDP Advanced Edition と UDP Premium Edition のキーを同一コンソールで使用できます。
- 6. UDP の CPU ソケット単位ライセンスと、Arcserve Backup と Arcserve RHA のコンポーネントを混在できますか？**

はい。サポートされています。
- 7. CPU ソケット単位、またはサーバ単位のライセンスと容量課金(キャパシティ)単位のライセンスを混在して利用することは可能でしょうか。**

同一の UDP 管理コンソール上で、CPU ソケット単位、またはサーバ単位ライセンスと容量課金(キャパシティ)ライセンスを組み合わせることはサポート対象外です。

8. **Arcserve UDP のどの Edition にもファイルベースのバックアップ機能（Arcserve Backup を活用した）は含まれているのでしょうか。また、HA(ハイ・アベイラビリティ)(Arcserve Replication/High Availability を活用した)機能はどうでしょうか。**
Premium Edition には、ファイルベースのバックアップの機能が、Premium Plus Edition にはレプリケーションと HA(ハイ・アベイラビリティ)の機能が含まれています。
9. **Office 365(Exchange Online) を保護できる機能がオプションにあります。どのようにライセンスするのでしょうか。**
Office 365 を保護できるこのオプションは、10 ユーザ分が含まれる 1 年間のサブスクリプション(1 年分のライセンス料とメンテナンスがセットになったライセンス体系です)で購入いただきます。
復旧ポイントサーバに格納されたバックアップデータをテープに保管する場合には、Arcserve UDP のいずれかの Edition のライセンスが必要になります。
10. **Advanced Edition には、「テープ保管」の機能が含まれていますが、複数のドライブのテープライブラリはサポートされていますか。**
いいえ、単一のドライブ以上のテープライブラリをご使用になる場合は、Arcserve Backup Tape Library Option が別途必要になります。(Arcserve Backup Base ライセンスが導入されていることをご確認ください)
Arcserve UDP Premium と Arcserve UDP Premium Plus Edition には含まれていますので別途購入いただく必要はありません。
11. **Arcserve Backup のライセンスポリシーに、「VM Agent per Host License」が含まれているので、プロキシサーバを保護するのに追加のライセンスは不要と書かれています。このポリシーは UDP Premium Edition に含まれる Arcserve Backup でも同じでしょうか。**
いいえ、プロキシサーバも保護するには、プロキシサーバ用にライセンスが必要です。
12. **Premium と Premium Plus Edition は、ローカルの HA シナリオに加えて WAN 越しの HA シナリオにも対応可能でしょうか。**
はい。
13. **Advanced Edition には、Arcserve RHA のキーが含まれていますか。**
いいえ、標準機能である復旧ポイントサーバ間のレプリケーションのみ含まれていますので、保護対象のデータのレプリケーションを行う場合は、Premium Edition、または Premium Plus Edition、または個別に Arcserve RHA を購入いただく必要があります。
14. **単体で購入した Arcserve RHA と UDP Premium Edition に含まれている RHA でレプリケーションを構成することはできるのでしょうか。**
はい、可能です。
15. **Arcserve UDP Linux バックアップサーバは Windows 上の管理コンソール（または復旧ポイントサーバ）で管理できるのでしょうか。**
はい、できます。Arcserve UDP の単一の管理コンソールから Windows も Linux も両方の環境を定義、管理できます。

16. **仮想スタンプは、Citrix Xen Server を対象の仮想環境としてサポートしていますか。**
いいえ、Citrix Xen Server は、保護対象の仮想環境としてのみサポートされています。
17. **遠隔地への仮想スタンプをするには、追加ライセンスが必要でしょうか。**
いいえ、保護対象のサーバに Arcserve UDP をライセンスいただくだけです。
17. **導入中の Arcserve Backup のライセンスが間もなく更新の時期を迎えますが、このタイミングで Arcserve Backup のライセンスを Arcserve UDP に変更することは可能でしょうか。**
Arcserve Backup から Arcserve UDP へは製品をまたいだアップグレード(クロスグレード)が可能です。製品型番が用意されていますので詳しくは価格表をご覧ください。
18. **Arcserve UDP v5 で Standard Edition を導入しており、有効なメンテナンスを持っています。この場合、Arcserve UDP v6 ではどの Edition にアップグレードすれば良いのでしょうか。**
有効なメンテナンスをお持ちの場合は、Arcserve UDP v6 Advanced Edition に無償アップグレードが可能です。
19. **Arcserve UDP v5 で Standard Edition を導入していますが、メンテナンスの更新を行っていません。Arcserve UDP v6 で Advanced Edition へのアップグレードを検討していますがこの場合、どのようにすれば良いのでしょうか。**
有効なメンテナンスをお持ちでない場合は、Arcserve UDP v6 Advanced Edition の「以前のバージョンからのアップグレード」価格で購入いただくことができます。アップグレードの詳細は Arcserve ジャパンダイレクト (TEL : 0120-410-116) にお問い合わせください。
20. **仮想マシンを保護するためにサーバ単位ライセンスを利用することは可能でしょうか。**
いいえ、サーバ単位ライセンスを仮想マシンの保護に利用することはできません。ソケット単位ライセンスを利用ください。(エージェントベースの仮想マシンの保護の場合、[ハイパーバイザの指定](#)によって仮想ホストに関連したライセンスを仮想マシンが利用できます。)
21. **Linux サーバが保護対象の場合、Arcserve UDP に含まれるテープ保管の機能を活用することは可能でしょうか。**
はい、テープ保管の機能は、復旧ポイントサーバを介して可能です。
22. **フルシステム HA シナリオで、フェールオーバー後の“リバース”シナリオを実行するために追加のライセンスが必要でしょうか。**
いいえ、不要です。
23. **NAS ファイラーの NDMP バックアップを行うには、どの Arcserve UDP edition をライセンスすれば良いのでしょうか。**
Arcserve UDP Premium Edition で NDMP バックアップが可能です。(Arcserve Backup を活用)
保護する NAS ファイラーあたり 1 つの Arcserve UDP Premium Edition ライセンスが必要になります。

24. **クラウド上のデータを保護する場合、Arcserve UDP をどのようにライセンスすれば良いのでしょうか。**
クラウドインスタンスごとに 1 つの CPU ソケット数単位ライセンスが必要になります。
25. **Arcserve UDP Workstation Edition には Host-based VM backup と仮想スタンバイの機能が含まれているのでしょうか。**
Arcserve UDP Workstation Edition は Host-based VM backup を実行する機能を提供していません。Arcserve UDP Agent をライセンスされているクライアント PC にインストールすることで、仮想スタンバイを利用できます。
26. **Arcserve UDP Workstation Edition は、VMware View 環境に適用することができるのでしょうか。**
はい、仮想マシン単位のバックアップに対して適用いただくことができます。仮想ホストに適用する場合は、Arcserve UDP Advanced Edition または、それ以上のライセンスが必要になります。
27. **Arcserve UDP の無償トライアルは、ライセンスキーを適用した際に終了になるのでしょうか。**
購入した製品のライセンスキーを適用することで、製品をインストールし直すことなく引き続き製品をご利用いただけます。
28. **Arcserve UDP の複数の Edition のライセンスを混在して管理することは可能でしょうか。**
はい、可能です。例えば、Arcserve UDP Advanced Edition のライセンスキーと Arcserve UDP Premium Edition のライセンスキーを同じ Arcserve UDP のコンソールで管理することができます。
29. **Arcserve UDP のライセンスと Arcserve Backup や Arcserve Replication/High Availability を混在して利用することは可能でしょうか。**
はい、可能です。